

南高麗地区



ジャガイモ収穫体験会 令和7年6月28日 下畑地内

南高麗地区は、飯能市街地の南西に位置し、東西約9km、南北約4kmの細長い形状をした、中山間地と呼ばれる地域である。西の山間部には市指定天然記念物のモリアオガエルが生息し、東部には同じく市指定天然記念物のカタクリやイカリソウが早春に花開くなど、豊かな自然を有している。

また、縄文時代の住居遺跡が点在し、江戸城天守閣造営の際に必要な消石灰の生産の場となった石灰焼場跡や、現存する曹洞宗の本堂としては最も古い長光寺の本堂があるなど、この地には長い歴史と、その歴史に醸し出された豊かな生活文化がある。

年に一度の大運動会や文化祭の時期になると、住民総出で盛り上がり、人々の心の中に郷土愛の溢れる地域でもある。

活動実績

南高麗地区まちづくり推進委員会は、平成 12 年 11 月に発足し、これまでアクションプランに基づき、IT、イベント、ふるさと、里山づくり、夢農場、子ども・学校応援の各実行委員会による様々な活動を展開してきた。令和 2 年 1 月から新型コロナウイルス感染症の関係で 3 年間活動が滞った。

- ・IT 実行委員会は、HP の更新をとおして南高麗地区の様子の情報発信をする活動を行ってきた。また、地区内で行われる行事を撮影し、写真記録に努める一方、昔の写真をデジタル記録する活動を行った。
- ・イベント実行委員会は、各種イベントを企画・実行し、地区住民の交流の場を作っている。ツーデーマーチと地区文化祭での売店運営、会員の親睦を図る暑気払い、研修旅行も実施してきた。
- ・ふるさと調査実行委員会は、南高麗地区内のハイキングコース設定と道標の設置、主だった山頂に石の標識を建てる活動を行い、12 基設置済みとなっている。
- ・里山づくり実行委員会は、下畑の穴郷（あなご）地区の整備に努め、ホタル観賞会を実施してきた。
- ・夢農場実行委員会は、会員自らが農作物を作ることにより、衰退するおそれのある農業に対する理解を深め、作業を通じて会員相互の協力体制の強化に役立っている。具体的には、南高麗小中学校の児童・生徒と農業体験実習を実施し、作付けと収穫の喜びを共有している。
- ・子ども・学校応援実行委員会を平成 22 年度に立ち上げ、継続して活動してきたが、まちづくりの組織的活動というより、会員個人のボランティアとしての活動になっているように思う。「子どもは地域の宝」という観念は持ち続けつつ、学校応援の活動を進めている。

現状と課題

恵まれた自然を維持するために必要な人的資源の減少により、今後、地域の環境保全は難しいと感じている。

この現状を打破するためには、元気で経験豊かな高齢者が地域活動に主体的かつ積極的に取り組むことが必要である。したがって、高齢者が意欲的に取り組める魅力的な活動を創り出すことが課題といえる。また、どうすれば若い世代が南高麗地区に留まるか、その方法を地区全体で考える必要にも迫られている。その先駆けとして、今からでも地域を挙げて子ども会や学校行事への協力をを行い、将来的な地域の担い手の確保を目指して活動をしていく必要がある。

南高麗地区は、市街化調整区域であることから、住宅の建築が制限されているが、平成 28 年度から“農のある暮らし”「飯能住まい」制度が導入され 70 世帯 219 人（令和 7 年 3 月末現在）の移住者があり、人口の増加が図られている。この制度が確実に定着するためには、地域の人々の迎え入れる姿勢とともに、一緒になって地域づくりを進めていく必要がある。市の助言もあり、移住者は全世帯自治会に加入して、自治会の中で役割を果たしている人も多くいる。まちづくりの活動にもいかにして参画していただくかの手立てを考える課題がある。

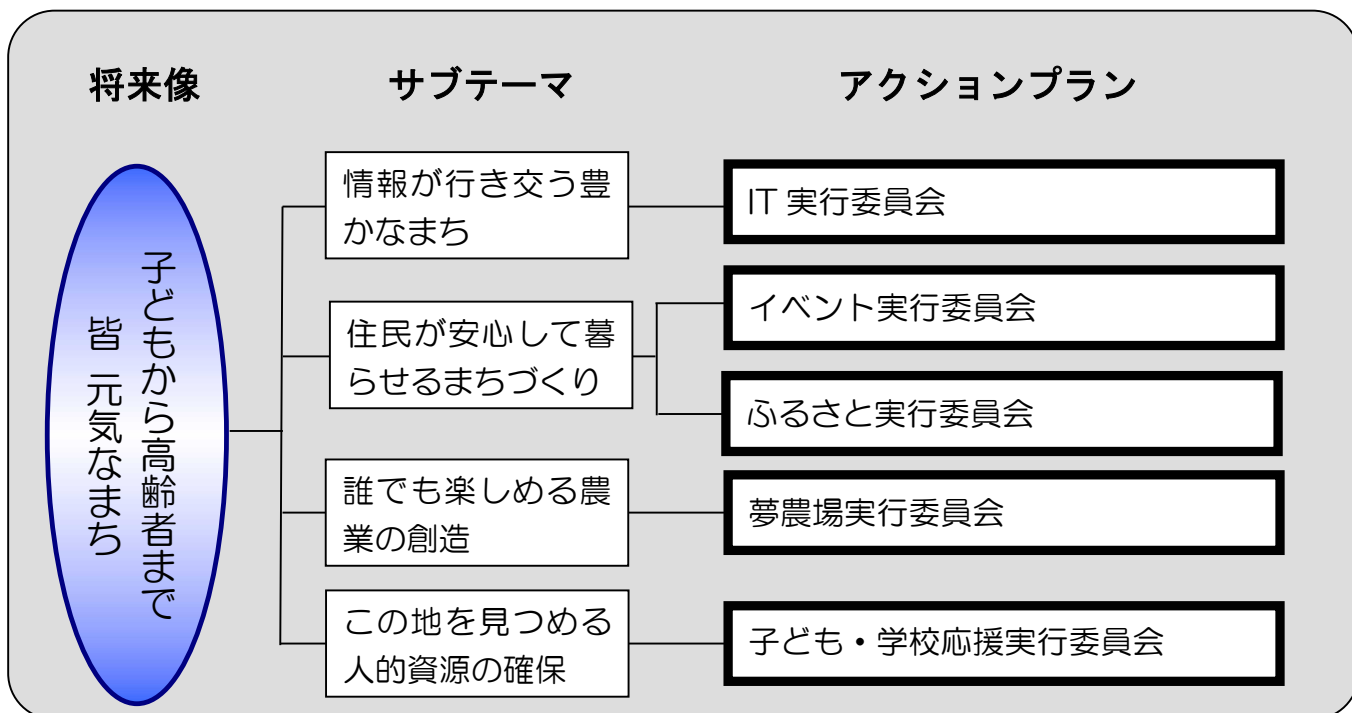
将来像

子どもから高齢者まで
皆 元気なまち

サブテーマ

- 情報が行き交う豊かなまち
- 住民が安心して暮らせるまちづくり
- 誰でも楽しめる農業の創造
- この地を見つめる人的資源の確保

南高麗地区協働計画「アクションプラン」



長光寺惣門 長い歴史のある地域です



過去の活動を生かして「石標めぐり」

★アクションプラン①「IT 実行委員会」

〔目的と取り組み〕

高度情報化社会と言われている今日、南高麗地区では、IT メディアを活用し、地区内の情報を共有化することで、南高麗地区の一体感を向上させる。

同時に、地区の発展に役立つ地区外の情報の収集も併行して行って行く。今後もホームページ「おいでなすって南高麗」の運営や、パソコンの有用な使い方の講習会を実施する予定である。ホームページを使って行事をPRし、参加を募る方法を導入する。

古い写真をアーカイブスとしてデジタル保存する活動を行って行く。地区内諸団体の活動時の写真撮影サービスを行って行く。

★アクションプラン②「イベント実行委員会」

〔目的と取り組み〕

地区住民が安心して暮らせるまちをつかって行くためには、住民が直接顔を合わせ、言葉を交わす機会を設けることが重要である。

ツーデーマーチや文化祭、健康づくりワンデーウォーク、収穫祭等、人と人がふれあう機会を可能な限り多くつくり、将来像である「元気なまち」を目指して活動を進めて行く。ツーデーマーチの時に行う売店運営は、携わる人員を確保する課題を解決しつつ、今後も実施して行く。



ツーデーマーチ 売店運営

★アクションプラン③「ふるさと実行委員会」

〔目的と取り組み〕

南高麗地区の恵まれた自然に、地区の内外を問わず多くの人にふれていただくために山道の整備を行う。南高麗全域のハイキングコースの整備は、ほぼ終わっているが、さらなる調査を行い、出来るだけ多くのコースの整備を目指す。また、公民館（地区行政センター）やスポーツ協会と連携して作り上げたハイキングコース 10 コースも、両者とのタイアップ事業で活用していきたい。12 基設置してある「石標めぐりハイキング」は、引き続き実施して行く。



トレランコース整備



地区内にクリスマスイルミネーション

★アクションプラン④「夢農場実行委員会」

〔目的と取り組み〕

農業をとおして多くの仲間をつくり、農業への理解を深め、誰でも楽しめる農業を目指し、南高麗を農業で賑わう地に行きたいと考えている。また、多くの仲間を募るため、地区外賛助会員制度も取り入れて行く。苅生にある「夢農場」は、中学校の学校農園にもなっているので共にジャガイモづくりを進める。小学校での農業体験は、関わる人員が少ない中であるが、いろいろな農作物づくりの支援を行って行く。収穫したジャガイモについては、福祉センターや児童クラブに提供するなどして有効に活用して行く。ミツバツツジの管理については、所期の目的は達成していると見立てている。



★アクションプラン⑤「子ども・学校応援実行委員会」

【目的と取り組み】

「子どもは地域の宝」という言葉があるように、若い世代の南高麗地区からの流出を防ぎ、地域の担い手を確保していかなければならない。将来のこの地域に留まり、地域の良さを理解し、南高麗地区で活躍する子どもたちの成長を見据え、地域を挙げて子どもや学校行事に協力することで地域の活性化を図って行く。登下校時の安全確保をしている「子ども見守り隊」と、この実行委員会との連携を検討していく。



小学2年生 上分探検 穴の作



小学校体験農場



地域大運動会



ツデーマーチ運営スタッフ

子どもから高齢者まで
皆元気なまち



ジャガイモ撒き



尾根道整備





アクションプラン④
夢農場実行委員会

アクションプラン⑤
子ども・学校応援実行委員会



アクションプラン③
ふるさと実行委員会

 ミツバツツジ
 一本桜

南高麗地区アクションプランマップ



アクションプラン①
IT 実行委員会



岩井堂観音



イカリソウ群生地



カタクリ群生地



アクションプラン②
イベント実行委員会